

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

○心豊かに生き生きと学び、ともに伸びようとする「すわっ子」の育成
基礎学力向上を目指し、学校・家庭・地域が連携・協働して取り組み、教職員が心身ともに元気で、児童一人ひとりを大切にする授業の充実

＜本年度の学力向上策＞

- 1 学校・家庭・地域が連携・協働した教育活動の推進
 - ・東岩槻小・桜山中との「小・中一貫スタンダード」の継続実践を行う。
 - ・「家庭学習カード」・「いきいき生活カード」の活用による家庭との連携を深める。
 - ・コミュニティ・スクールを含めた地域総掛かりによる生活習慣の定着を図る。

【学校は、行事や授業などの情報が、家庭によく分かるようにしていると感じる保護者90%以上】
【小・中合同研修会3回実施】
- 2 各調査を活用した授業改善
 - ・全国学力・学習状況調査や「新・さいたま市の授業づくり」の「よい授業」4つの因子の視点に基づいた授業改善及び指導体制の改善に努める。
 - ・教職員同士の参観による「授業づくりチェックシート」を活用した授業改善を行う。

【授業が楽しいと感じる児童90%以上】
【学校の勉強がよくわかると感じる児童90%以上】
- 3 基礎学力向上のための研修の推進
 - ・教員の指導力向上のため、学力向上カウンセリング学校訪問や指導者招聘による講話の授業研究会実施などにより、算数科を中心とした授業の改善を図る。
 - ・教職員が児童一人ひとりと向き合い、基礎学力を向上させる。
 - ・他校の授業研究の成果を有効活用し、教材準備等の時間削減を図るなど、学校課題研修に働き方改革の視点を意識した授業改善項目を設ける。

【教職員は、教え方を工夫して分かりやすい授業をしていると感じる保護者90%以上】
【学校は一人ひとりの子どもに応じた教育をしていると感じる保護者80%以上】

＜本年度の振り返り＞

- 1 ○「家庭学習カード」や「いきいき生活カード」の活用を通して家庭との連携を深めた。また、コミュニティ・スクールも推進してきた結果、「学校は、行事や授業などの情報が、家庭によく分かるようにしていると感じる保護者90%以上」を達成することができた。
- 2 ○教職員が「よい授業」のアンケート結果を踏まえて授業改善・指導体制の改善に努めたことで、「授業が楽しいと感じる児童」「学校の勉強がよくわかると感じる児童」は共に90%以上を達成することができた。
▲教職員同士の参観については、より効果的で継続可能な実施方法について研究を深めていく。
- 3 ○指導者招聘による指導や講話を実施し、教職員の授業改善への意識が高まったことで、「教職員は、教え方を工夫して分かりやすい授業をしていると感じる保護者」「学校は一人ひとりの子どもに応じた教育をしていると感じる保護者」とともに目標を達成することができた。

